



運動会

こども園

保育園

町内のこども園と保育園で運動会が行われました。かけっこでは、ゴールを目指し一生懸命走りました。お遊戯では、練習の成果をしっかりと発揮でき、応援に来ていた保護者の皆さんも笑顔で見守っていました。

みずはし保育園

10月
13日



祖母井保育園

9月
29日



認定ひばりこども園

10月
13日



認定こども園のぶ幼稚園

9月
29日



県少年の主張発表大会



菅谷 桜さん

8月23日(木)に開催された第41回県少年の主張発表大会芳賀地区大会に、芳賀中学校の代表として出場した菅谷桜さんが、見事、最優秀賞を獲得し、9月22日(土)に開催された県大会に芳賀地区代表として出場しました。今回は、菅谷さんの発表した全文を掲載します。

「おめでとう」

芳賀町立芳賀中学校3年

菅谷 桜

皆さんが一番最初に「おめでとう」と言ってもらったのはいつですか。小学校に入学したとき。かけっこで一番になったとき。きつと、一番最初に「おめでとう」をもらったのは、生まれたときです。

先日、私のいとこに赤ちゃんが生まれました。とても小さく、母親に似たかわいい男の子でした。いとこから、お腹に赤ちゃんがいるという報告を受けたときはとても驚きました。それと同時に、私はとても嬉しい気持ちになったのです。

いとこは赤ちゃんが生まれた瞬間、無事に生まれてほしいのと「生まれてきてくれてありがとう」と思ったそうです。予定日を大きく過ぎ、帝王切開で出産したいのですが、なぜ痛い思いをしても「生まれてきてくれてありがとう」と思えるのか。そんな私の疑問にいとこは「この子が大切だから」と答えてくれました。唯一命を懸けて守ってあげたいと思える存在で、何にも代えがたい存在だということです。私もいとこの家に遊びに行くたびに、「かわいいな」「守ってあげたいな」と感じます。この赤ちゃんは、周囲からもたくさん愛されて生まれてきました。私にもその子の両親も親戚だつてみんな、強くて優しく元気な子に育ってくれることを願っているのです。

しかし、世の中はこんなに幸せなことばかりではありません。2018年3月に起こった虐待死の事件は記憶にも新しいと思います。食事あまり与えられず、しつこくと言って冷水をかけられたり、暴力を振るわれたりして亡くなってしまった5歳の女の子がいました。その子が書き残したノートには、「もうお

ねがいゆるして。ゆるしてください」「あそぶってあほみたいだからやめる」などと書かれていたそうです。私はこの事件を知ったとき、本当に悲しくなりました。「言うことを聞かなかったから」「泣きやまなかったから」「邪魔だったから」。そんな自分勝手な理由で、この世に生まれてきた大切な命が失われてしまふのです。生きることを望まない命があるのはとても悲しいことだし、あつてはならないことです。

また、愛されて生まれてきたはずなのに、自分の命を自ら断つてしまう人もいます。さまざまな理由があると思いますが、両親が命懸けで生んでくれたこと、自分の存在を喜んでくれたことをなかつたことにはいけないと私は思うのです。お腹の中に赤ちゃんがいるとわかつてから、親達は大事に大事に命を守ってくれます。生きていくことが当たり前ではないこと、今生きていることがどれほど奇跡的なことなのか。普段意識していないけれど、「命」というものを軽く扱ってはいけないのです。

私の母は、いとこと同じく帝王切開で私を生みました。出産直後、母はまだ眠っていましたが、父やお見舞いに来てくれた人達は眠る母に、そして私にたくさん「おめでとう」と声をかけてくれたそうです。私の誕生は、見守ってくれた人達にも幸せや喜びを与えたようです。私は今、この言葉に込められた周囲の気持ちに気が付きました。

多くの人から愛され、たくさんの人に守られて私は今を生きています。大切な命をこれからも死ぬまで燃やし続けていかなければならないのです。そのためにも、これからは一日一日をもっと大事に過ごしていきたいです。

私が生まれた瞬間、たくさんの人達にももらった「おめでとう」。私はこの言葉に応えられるよう、これからも精一杯後悔することがないように生きていきたいと思っています。